

# 農業の振興施策と経営の安定を

## ～建議書を市へ提出～



谷井市長（右端）へ建議書を手渡す釜瀬会長（左端）

市農業委員会の釜瀬博志会長が昨年12月19日、谷井博美市長へ市農業政策に関する建議書を提出しました。

この建議書は、市の農業振興施策と農業経営の安定を図るため、同委員会が農業者の公的代表機関として、農業の重点施策を谷井市長へ提言するものです。  
内容は次の①～⑦の項目です（原文のまま）。

### ①担い手対策

市の基幹産業の担い手である農家の戸数が減少する中、後継者不足問題は深刻さを増している。このような状況の中、市



企 画 / 宗像市農業委員会  
連絡先 / 宗像市東郷1-1-1  
TEL (36)0046

農業についての  
意見を気軽にどうぞ。

### ②補助事業など 助成の充実

農業者が効率的、安定的かつ継続的に農業経営に取り組めるように各種条件整備が求められる。しかし、それらを独力で整備するには経済的困難が伴うと思われる。

従って、市としても地元産業の育成と環境保持を含めた農業の安定的、継続的発展のために、国県等の補助事業の効率的な実施とともに補助事業の追加措置にとらわれない宗像市独自の実施計画に基づいた支援助成としての補助制度の確立を願いたい。

### ③いのしし被害対策

近年、いのししによる農作物の被害が顕著になってきている。農家にとっては丹精に育てた作物を一夜にして荒らされる心遣いは、作物の被害のみならず、栽培意欲も損なわれ耕作を放棄する例も見受けられる。

### ④地域農業の活性化

関係機関との連携により農産物のブランド化（特産品）や6次産業を強力に推進し他の地域とは異なる「むなかたブランド」の創設を行い、さらに市長がトップセールスマンとなり販売の促進にあたられたい。

### ⑤女性農業者支援

現代の農業の重要な役割を果たしている女性の地位の位置づけを明確にし、女性が自主的に活躍できるように環境整備を図るとともに地域社会への積極的な参画と公職への登用を促進されたい。

### ⑥むなかた地域農業 活性化機能充実

むなかた地域農業活性化機構は宗像市、福津市、JAむなかたの3関係機関により平成22年9月に設立され、既存の農家の経営改善のみならず、農地利用集積事業をはじめ、新規就農希望者への就業支援、地元農産物の消費拡大、担い手農家の

### ⑦地産地消の推進

生活水準が向上し多様な食生活が楽しめる一方、近年、食料、特に農産物の安全に対する不信感がある。今こそ安心安全な地元農産物の増産に努め、地域内特に学校や

## 【市地域別 農地賃借料情報】

昨年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借の賃借料。水準（10a当たり）は下表のとおりです。

締結（公告）された地区名	農地区分	平均額（円）	最高額（円）	最低額（円）	データ数	無償数
吉武地区	農用地	10,100	12,000	9,000	26	13
	その他	10,700	12,000	10,000	3	
赤間地区	農用地	9,300	15,100	5,000	37	7
	その他	8,700	9,000	8,300	5	
河東地区	農用地	7,500	12,000	4,000	42	17
	その他	7,000	7,000	7,000	1	
南郷地区	農用地	9,300	12,000	4,000	117	34
	その他	5,800	10,000	4,000	6	
東郷地区	農用地	9,100	11,000	4,000	124	10
	その他	9,300	11,000	7,000	17	
田島地区	農用地	9,700	10,000	5,000	49	7
	その他	10,000	10,000	10,000	2	
神湊地区	農用地	7,500	10,000	5,000	2	4
	その他	3,900	3,900	3,900	1	
池野地区	農用地	7,500	12,000	6,000	49	21
	その他	9,000	11,700	3,000	7	
岬地区	農用地	5,300	10,000	5,000	19	10
	その他	5,000	5,000	5,000	1	
市全体	農用地	8,800	15,100	4,000	508	123
	その他	7,700	12,000	3,000		

\* 農地区分の農用地は農振農用地、その他は農振農用地外農地と市街化農地



直売所等への食・農教育の支援や連携強化を積極的に行っていただきたい。